

七五三パーティー

七五三は、子どもの健やかな成長と健康を祝う日です。地域によって違いはありますが、男子は三歳と五歳、女子は三歳と七歳です。千歳飴は、江戸時代に飴屋さんが考えたもので、「長生きできますように」という願いを込めて細長く作られています。

保育園では、『たくさんの人に見守られて大きくなったことへの感謝の思い』と『みんながいつまでも元気で幸せに』という願いを込めてホールでパーティーをし、いつもとは違う給食でお祝いします。今年は赤組さんが収穫したあずきで一口お赤飯も登場します。



勤労感謝の日

勤労感謝の日は、元気に働けることや、働いてくれる人がいることに感謝する、国民の祝日です。働くことでみんなの生活があるということを感じられるようになってほしいですね。

働いている、お父さんお母さんや周りの人に、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられるようにしましょう。



親子での触れ合いあそびの大切さ

先日の乳児クラスのみニ運動会、お父さんやお母さん、お兄ちゃんお姉ちゃんも一緒に参加してください、楽しいひと時になりました。コロナ禍の中、行事の形を変えて、皆さんに参加してもらっていますが、親子で楽しい時間を体験していただくことを嬉しく思っています。保育園で体験していることを一緒に体験していただいたり、親子で楽しめることなど提案し、これからも楽しい行事にしていきたいと思います。そのミニ運動会の中でも取り入れましたが、親子の運動遊びについてお話させていただきます。10月13日に、ぱおちゃんルームにて、いつも親子体操を指導していただいている、阿部玲子先生をお迎えして、2歳児以上の親子体操教室をしていただきました。コロナ禍という事で、今回は跳び箱マット、鉄棒など一切使わずにできる運動あそびでした。「自ら見て、目で判断するためには、乳児期から手や足を自由に動かして、色々なことを体験することが大切です。子どもの目の前に何か物があった時、抱っこしてあげていませんか。それを乗り越えるために、どのくらい足を上げたいか、やってみさせることが必要なのです。できなかったら、『もう1回やってみようか』『今度はできたね』その体験をすることで、足をどのくらい上げたら転ばずに乗り越えられるかが判断できるようになります。つい先回りしてしまい安全にと物をのけたり、抱っこする大人は多いと思います。その状況にもよりますが子どもの行動を見る、待ってどのように動かかやってみさせることが大切なんですよ。」というお話を最初にしてくださいました。

最近の子どもはよく転ぶ、少し歩いただけで疲れたと座り込んでしまうなど言われています。それは子どものせいではなく、今の世の中が変わってきているせいなのでしょう。例えばバリアフリーで段差がなくなり足を上げることが少なくなっているから、ものにつまずいたりする。また、車社会となり少しの所でも車で移動し、歩く機会が少ない。自動ドアやセンサー式



お母さんの足は平均台

お馬さんから落ちないように



肘と足を持って ゆ～らゆら



お母さんの足を棒に見立てて倒してみよう!



お母さんをタオルに乗せてひっぱってみよう!

の水道などが普及し、手を使わなくてもよくなっている。こんな時代だからこそ、あえて足を上げて歩いたり、腕を動かしたり、手をつくあそびを取り入れなくてはならないのです。そういったあそびは、特別な遊具や場所が必要ではなく、身近にいるお父さん、お母さん、保護者の方の体を使って十分できるのです。保護者が抱っこしてゆらゆらすると、子どもは落とされまいとして足に力を入れます。逆さまにすると、自然に手を伸ばして逆立ちしようとする。これは、身を守るために本能的に備わっている能力なのですが、使わないと消えてしまうのだそうです。親子体操の最後はタオルを使った運動でした。タオルの先を結び、おもちゃつきたいに床をたたいたり、タオルをボールにして、子どもが投げたボールをお母さんがタオルでキャッチするというあそびで盛り上がりました。親子で笑顔いっぱい楽しい時間になりましたよ。この笑顔が、子どもたちの心の栄養になるのですね。一人ひとり経験も違いますから、やりたくない時には無理にはさせずに待ったり、少し違うことをやりたかったらそれもOKという、体操教室でした。おうちでも、お父さんお母さんの体を使ってできることがたくさんありますのでぜひ一緒に遊んでみてください。

11月7日はみらいフェスタです。幼児クラスでは今、「みらい動物園・秋の親子遠足ヘレッツゴー!!」というテーマで様々な廃材を使って動物園作りが広がっています。子どもと対話をしながら、各縦割りチームでいろいろな方向に発展しています。お子さんの話を聞きながら、当日を楽しみにしててくださいね。乳児クラスでも親子でのあそびをたくさん準備しています。子どもの様子を見て、時には見守ったり、ここぞというときには一緒になって思う存分遊んでください。当日を楽しみに。

絵本をいただきました

熊野町教育委員会・青少年育成委員会から、絵本を40冊いただきました。各クラスの人気の絵本、子どもたちの好きな絵本を担当が選びました。大切にクラスで読ませていただこうと思います。

園児による環境美化活動

町内の環境美化を推進する事業で、白組さんがパンジーの植え付けをしました。1か月間、水やりをして育て、11月24日に、隣ご縁さんのおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントします。当日はお芋ほりなので、お芋やメッセージのパネルなどもお届けする予定です。

ビオトープにハート石が...

白組のお友だちが、「ビオトープにハート石があったよ～!!」と教えてくれました。それを側で教えてもらった職員がすぐに写真を撮って見せてくれました。

「実物を見た方がいいかも・・・」と言われ、みんなでわくわくしながら見に行きました。とってもほっこりする、嬉しい瞬間でしたよ。皆さんもハート石、みつけてみてくださいね!

